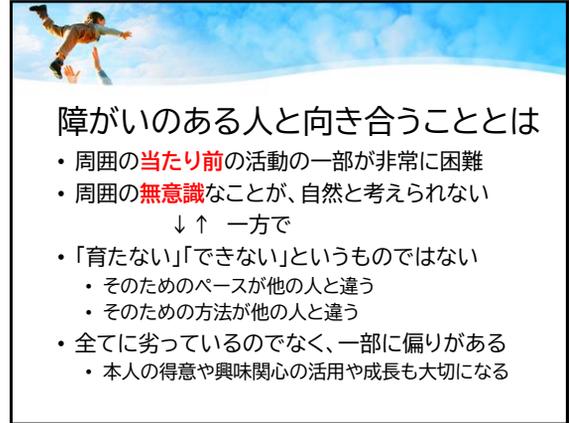
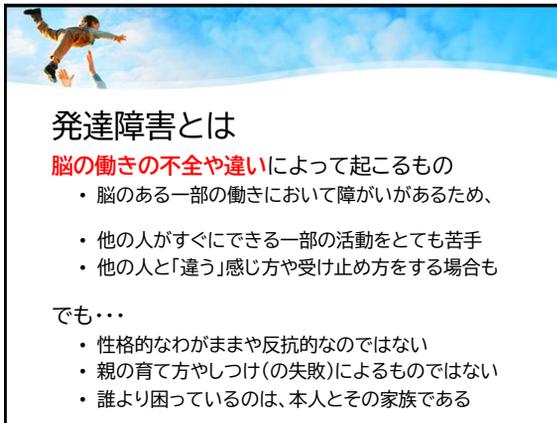




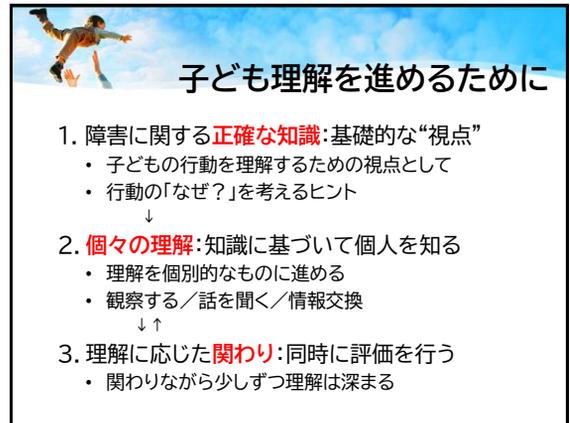
1



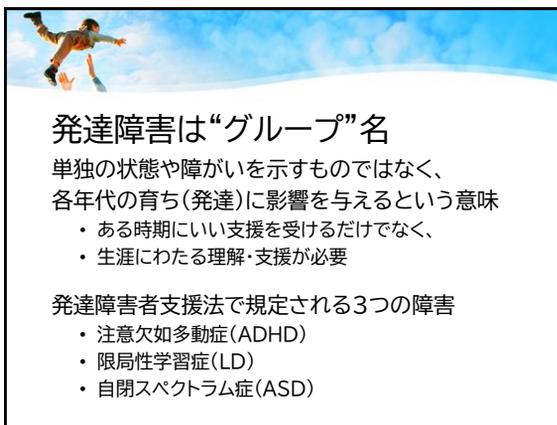
2



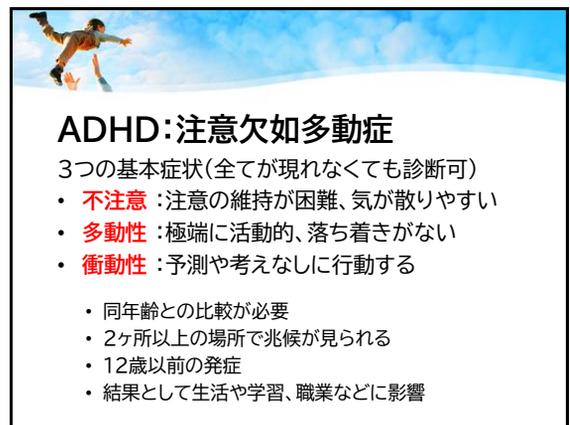
3



4



5



6



ADHDを取り巻く状況

- 成長の中での状態の変化
 - 多動性：着席する等の行動統制は9-10歳までに可能に
 - 衝動性：ある程度の我慢はできるが、維持される
 - 不注意：支援されにくい⇔成人期では問題視される
- 周囲の評価と本人の感じ方のギャップ
- 失敗経験の蓄積／自己評価の低下
- 二次障害のリスクが高まる

7



ADHD支援の方針

「やりすぎる」経験：注意集中の程度に応じた活動を

- 活動量やプロセスを減らして取り組む
- その中で“最後までやりすぎる”姿勢を持っていく

フィードバック(賞賛等)を意識的に提供する

+

- 集中しやすい環境構成：座席配置や刺激の調整
 - 説明の工夫
 - 簡潔な文章
 - 視覚化(忘れても確認できる)
 - 守るべき目標・約束は1つずつ取り組む

8



LD:限局性学習症

全般的な知的発達に遅れはない
下記の能力のうち、特定のものの習得と使用に著しい困難を示す

- 読むこと、書くこと、計算すること
- 聞くこと、話すこと、推論すること
- その背景に脳の働きの障がい推測される
 - 認知障がい：見る、聞くものの“把握”に苦しさ
 - 記憶の問題：覚えられることが限られている

↓

LD支援では、苦手なことへの繰り返し訓練よりも、その人に
応じた学び方の検討が必要

9



LD支援の方針

本人の得意な認知処理を活用した学習

- 視覚：必要な情報を視覚化する…文字、絵や図等
- 聴覚：誰かが読んだものを聞きながら学ぶ
- その他：運動感覚の使用等、多感覚の活用等
- その他：視聴覚情報の制限(情報を絞る)

苦手なことの代替手段の獲得

- 書字：ワープロソフトや音声入力への活用
- 計算：電卓や表計算ソフトの使用
- 記憶：メモ(筆記、音声メモ等)の活用

10

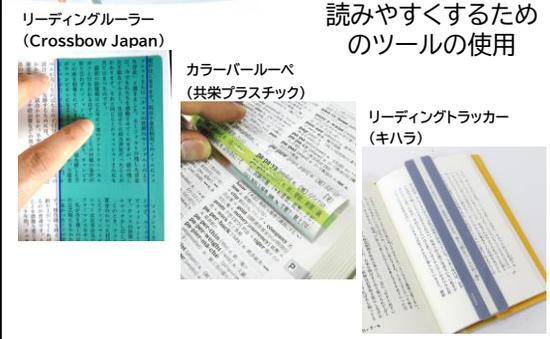


読みやすくするためのツールの使用

リーディングルーラー
(Crossbow Japan)

カラーバールーベ
(共栄プラスチック)

リーディングトラッカー
(キハラ)



11



文章の音声化

文字が上手く読めなくても、文字を音声で読み
上げることで、内容を理解できる子どももいる

- PCの音声読み上げ
- 音声エンジンの購入
- PDFやPCには組み込まれている
- 誰かが読んでいる文章を聴く
- 文章をICレコーダーに録音する



12



なぞり書きにおける工夫

デジタル教材の工夫
(色が変わるのわかりやすい)

砂字など触覚を変える





にほんご-ひらがな (hk2006)

13



漢字を覚えるための教材・工夫

「へん」と「つくり」を組み
合わせながら覚える

言語化して覚える
成り立ちなどのエピソード

『へん』と『つくり』を合わせるゲーム 漢字はかせ

ミチムラ式 漢字カード 6年生 ミチムラ式漢字カード (かんじクラウド)

『へん』と『つくり』を合わせるゲーム 漢字はかせ (幻冬舎)

月

14



ASD:自閉スペクトラム症

対人関係の構築やコミュニケーションの困難さ

- 会話でのやりとりの失敗や特異的なかわり方
- 相手に共感することが難しい
- 言葉以外の情報を探りにくい(表情や雰囲気など)

限定的で、反復的な行動パターン

- 変化への抵抗、習慣的なものへの強い欲求
- 興味がとても狭く、強い
- 感覚の過敏さや鈍感さなどの特異性

15



子どもの立場から考える

- 意図がうまく伝わらない大人
 - ↑ ↓
- 意図が上手く読み取れない子ども
 - 実は子ども自身は不安
 - 大人や周囲の様子を確認/いつも通りしかない
 - 誤解をしている場合も
- 意図をくみ取ることは大切だけど…
- まず子どもに伝えるように伝えることから始める
 - 「どうしたらいいと思う？」→「OOしてごらん」
 - そうした経験の積み重ねの中で、少しずつ考えてみる

16



ASDの人とのコミュニケーション

読み取れない部分は、何より「伝える」ことが大切

↓

理解できる伝え方の工夫

- **具体的**な表現 :行動(目標)で伝える
- **予め**伝える :仮定(もし…だったら)
- **視覚的**に伝える :文字に書く、絵を描く、お手本等
- **経験**から学ぶ :イメージしにくいので体験が重要
- **手順**や優先順位を伝える
- 禁止や注意の**先にある「期待」**を伝える

17



まとめ:発達障害の支援に向けて

- 現在の医学では「治る」ということが難しい
- 原因もまだ未解明

↓

- 発達障がいとともに豊かに生きることが目標
 - 「治らない」かもしれないが、よりよく「育つ」
 - 本人が理解できる方法の検討と尊重
 - 分からない情報は、周囲が伝える(明示する)
 - 肯定的な経験をたくさん持つ
 - 何より周囲に“理解者”がいることが大切なこと

18